

SAF海外大学 サマーセッション短期留学



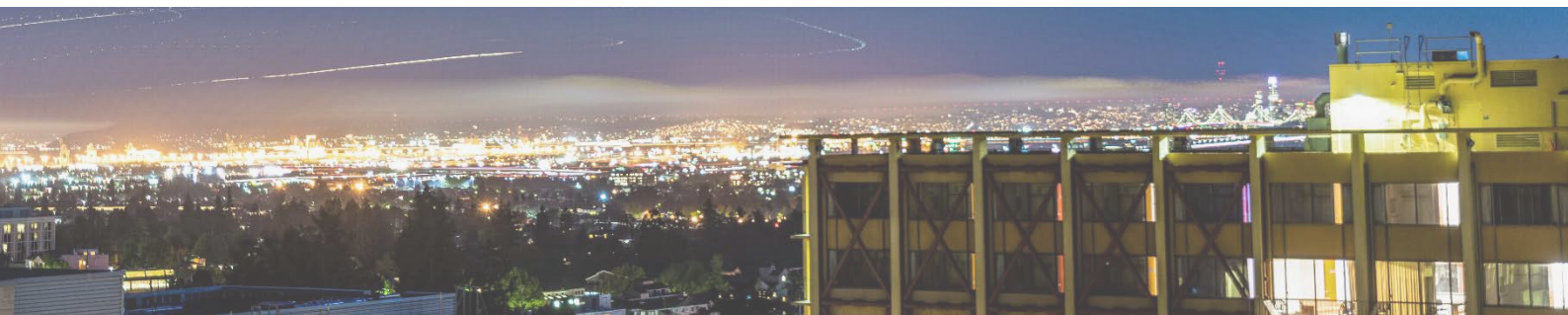
アメリカ 名門大学での学部授業履修プログラム

University of California, Berkeley

University of California, Los Angeles

University of California, Santa Barbara

SAF海外大学サマーセッション短期留学プログラムは、慶應義塾大学理工学部と
SAF日本事務局が協同で開発した、理工学部のための留学プログラムです。



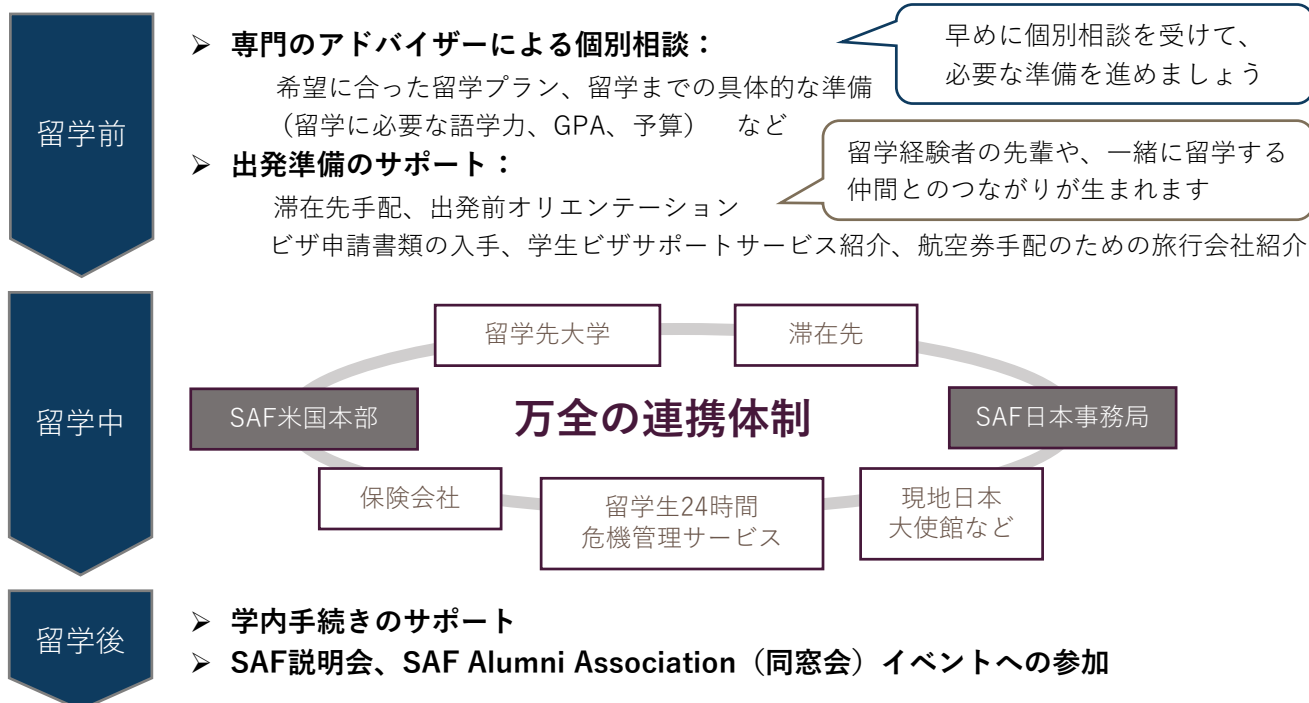
SAFスタディ・アブロード・ファウンデーションについて

本プログラムを運営する **The Study Abroad Foundation (SAF)** は、アジアの大学生の留学を促進するために活動している米国の非営利教育財団です。慶應義塾大学とSAFは2006年に協定を締結し、2019年までに670名を超える塾生を海外の大学での1学期・1年間の留学プログラムへ送り出しています。

本プログラムでは、理工学部生の履修計画や将来の計画に合う留学の機会を提供するために、米国の名門大学であるカリフォルニア大学系列校のサマーセッションへ理工学部の学部生を派遣しています。

SAFによるサポート体制

参加学生はSAFより、留学先大学選び・出願準備・渡航前準備に関するアドバイスを受けることができます。また、出願手続き、滞在先の確保、留学中の24時間体制のトラブル対応をSAFが行いますので、安心して留学準備や勉強に集中することができます。



SAF海外大学サマーセッション短期留学プログラム

世界のレベルを知り、グローバルに活躍するためのステップとなる留学プログラムです。

サマーセッション
短期留学

慶應義塾大学での勉強や研究

グローバル企業での活躍

海外大学院への進学

海外の研究者との共同プロジェクト、
海外での学会、海外でのインターシップ

夏季休校期間（8～9月中旬）や4学期制度の2学期目（6～7月）を利用して留学することができます。

夏季休校期間のみを利用

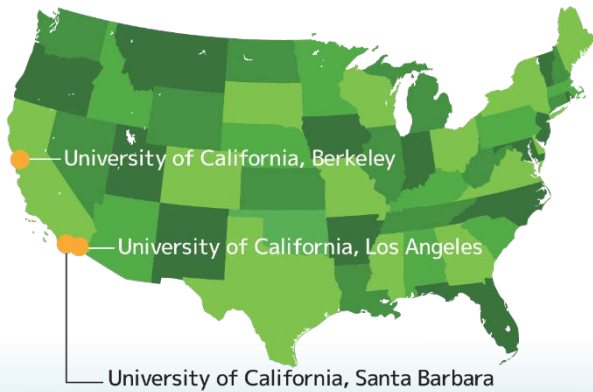
5月	6月	7月	8月	9月
慶應義塾大学で勉強			サマーセッション	
カリフォルニア大学 ロサンゼルス校 カリフォルニア大学 サンタバーバラ校 のみ				

夏季休校期間 & 4学期制度を利用

5月	6月	7月	8月	9月
慶應義塾 大学で 勉強	サマーセッション			
	サマーセッション			
	サマーセッション			

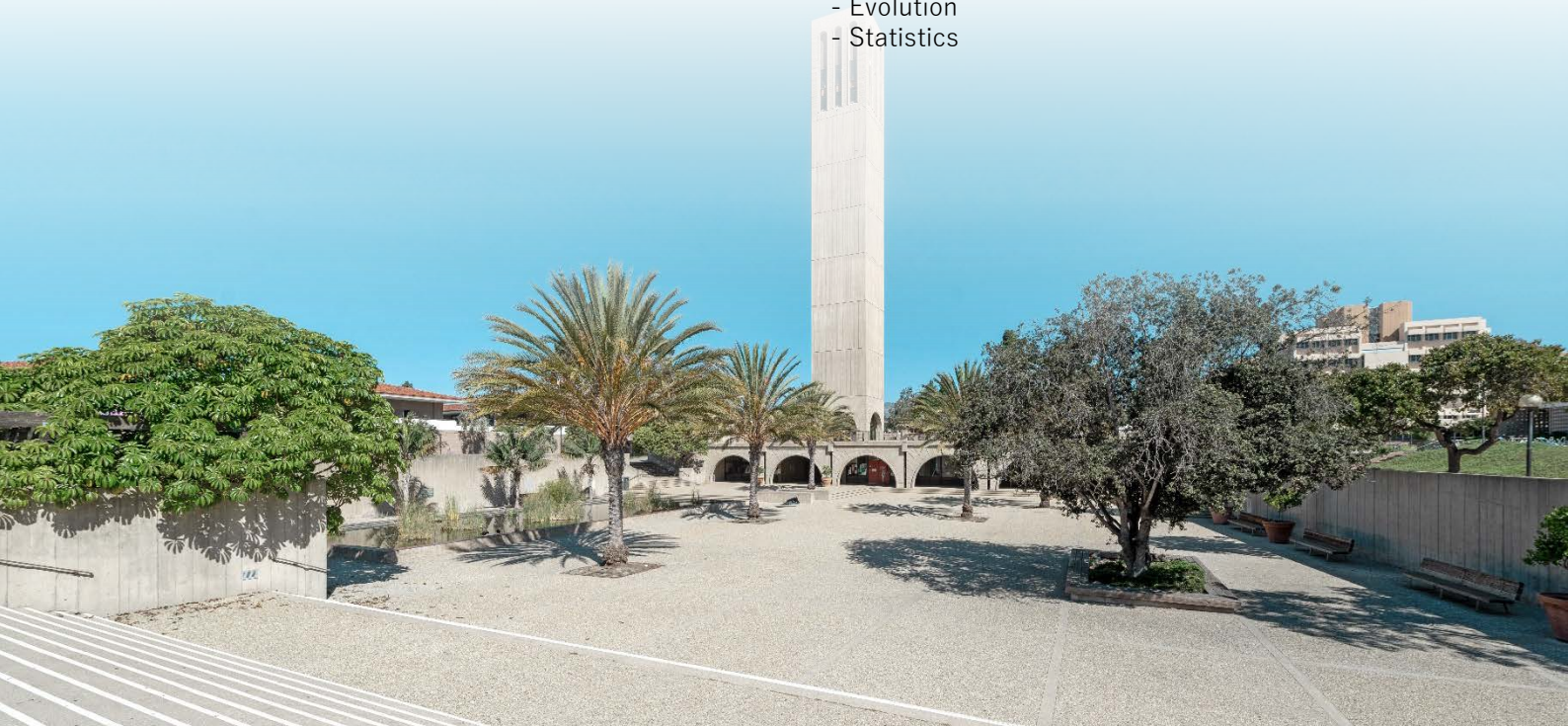
アメリカ西海岸の名門大学 カリフォルニア大学での学部授業履修

サマーセッション中に開講されている大学の授業を履修するプログラムです。サマーセッションの授業は、3～12週間という短い期間ですが、通常の学期中と同じ内容・量の授業となっており、学部の単位を取得することができます。現地の学生のみならず多くの留学生が世界中から参加しているため、様々な国籍の学生と肩を並べて一緒に勉強することが可能です。



過去の学生が履修した授業（例）

- Quantum Mechanics
- Electronic Techniques of Engineering
- Electrical and Electronic Circuits
- Fluid Mechanics
- Introduction to Biostatistics
- Introduction to Engineering Thermodynamics
- Introduction to Feedback and Control Systems: Dynamical Systems Control I
- Introduction to Oceanography
- Python Fundamentals for Data Science
- Evolution
- Statistics



「大学一覧表」：http://japan.studyabroadfoundation.org/apply_now/keio_science.php

カリフォルニア大学バークレー校 / University of California, Berkeley

◇所在地： アメリカ合衆国カリフォルニア州バークレー ◇学生数： 約35,000人



カリフォルニア大学群で最も古い歴史を持つ。現在に至るまでノーベル賞受賞者を70名以上輩出しており、世界屈指の名門校として知られる。

世界大学ランキング 13位
THE World University Rankings 2020

出願要件：GPA 3.0 TOEFL iBT 80 / IELTS 6.5 / TOEIC 685
 ※GPAは交渉可能なケースがあります。詳細はお問合せ下さい。



- ① セッションB： 6月8日～8月14日（10週間）／8単位
- ② セッションC： 6月22日～8月14日（8週間）／6単位
- ③ セッションD： 7月6日～8月14日（6週間）／5単位

- ◎費用：約US\$8,520.00-12,580.00 【約894,600-1,509,600円】
 ※費用は期間・滞在形式・履修科目によって異なります。
- ◎滞在形態：学生寮／アパート（3人部屋もしくは4人部屋）
- ◎食事形態：＜学生寮＞食費（Standard Meal Plan、約12食／週）含む、＜アパート＞食費は含まない

カリフォルニア大学ロサンゼルス校 / University of California, Los Angeles

◇所在地： アメリカ合衆国カリフォルニア州ロサンゼルス ◇学生数： 約40,000人



カリフォルニア大学群で最も学生数が多い最大規模の大学で、UCLAの名称で知られている。バークレー校に並ぶ世界の名門大学であり、米国の代表的な研究拠点の一つ。

世界大学ランキング 17位
THE World University Rankings 2020

出願要件：GPA 2.85-3.00 TOEFL iBT 79 / IELTS 6.5 / TOEIC 690
 ※GPAは交渉可能なケースがあります。詳細はお問合せ下さい。



- ① セッションA： 6月22日～8月28日（10週間）／8単位
- ② セッションA： 6月22日～8月14日（8週間）／8単位
- ③ セッションA： 6月22日～7月31日（6週間）／8単位
- ④ セッションC： 8月3日～9月11日（6週間）／8単位
- ⑤ セッションA+C： 6月22日～9月11日（12週間）／16単位
- ⑥ サマー・インテンシブ・スタディーズ： 8月3日～8月21日（3週間）／4単位～5単位

◇2020年度開講授業◇ ※履修要件有

- A: 有機分子の構造(CHEM 14C: Structure of Organic Molecules)/4単位
- B: 有機化学 III: 反応性、合成、生体分子(CHEM 30 C: Organic Chemistry III: Reactivity, Synthesis, and Biomolecules)/4単位
- C: 生理学とヒューマンバイオロジー(LIFESCI 7C: Physiology and Human Biology)/5単位

- ◎費用：①～⑤約US\$8,550.00-13,570.00 【約897,750-1,628,400円】
 ⑥約\$ 5,370.00 【約565,000円～645,000円】
 ※費用は期間・滞在形式・履修科目によって異なります。
- ◎滞在形態：学生寮（2人部屋もしくは3人部屋） ◎食事形態：食費（約11食／週）を含む

カリフォルニア大学サンタバーバラ校 / University of California, Santa Barbara

◇所在地： アメリカ合衆国カリフォルニア州サンタバーバラ ◇学生数： 約22,000人



パブリック・アイビーの内の1校として知られる名門公立大学。工学、物理・化学工学・材料工学の研究は全米の中でもトップレベル。

世界大学ランキング 57位
THE World University Rankings 2020

出願要件：GPA 2.7 TOEFL iBT 80* / IELTS 6.5*
 ※語学試験にはセッションごとの要件があります。



- ① セッションA： 6月22日～7月31日（6週間）／6単位
- ② セッションB： 8月3日～9月11日（6週間）／6単位
- ③ セッションC： 6月22日～8月28日（10週間）／6単位
- ④ セッションA+B： 6月22日～9月11日（12週間）／12単位

- ◎費用：費用：約US\$9,960.00-18,100.00 【約1,045,800-2,172,000円】
 ※費用は期間・滞在形式・履修科目によって異なります。
- ◎滞在形態：学生アパート（3人部屋もしくは4人部屋） ◎食事形態：食費（Standard Meal Plan、約10食／週）を含む

2020年度前期の説明会・個別相談スケジュール

日にち	時間	場所
2020年6月24日（水）	【説明会】 12:15-13:00 (帰国生による体験談を含む予定)	オンラインでの実施
	【個別相談会】 13:00-/13:45-/14:45-/15:30- /16:30- (1人45分の事前予約制)	オンラインでの実施

上記以外の日については、SAF日本事務局にて個別相談を随時実施（平日10:00-18:00 / 1人60分程度の事前予約制）

留学までの流れ

出願準備（～12月）

出願
（2～4月）

留学準備

出発
（6～8月）

まずは説明会に参加！

- 個別相談
- TOEFL/IELTS/TOEIC受験
- 学内手続きに関する確認
※全て必須

早めに情報収集をして
必要な準備を把握しましょう

- 出願ガイダンス出席（12月）
- 出願書類の準備

出発前オリエンテーション
（計2回・参加必須）

【出願締切】（予定 推奨締切/出願締切）

- カリフォルニア大学バークレー校：2月1日 / 3月13日
- カリフォルニア大学ロサンゼルス校（6月開始）：2月1日 / 4月1日
- カリフォルニア大学ロサンゼルス校（8月開始）：2月1日 / 4月27日
- カリフォルニア大学サンタバーバラ校：4月1日 / 4月27日

※締切日は2020年度の情報を参考としており、2021年度は変更となる可能性があります。

◆個別相談の予約の取り方◆

- 【申込方法】 Webお問い合わせフォーム / お電話
- 【必要事項】 希望する個別相談の日時（時間帯）を
第3希望までお知らせください
- 【電話】 03-5321-6222



お問い合わせフォームへのリンク

【重要】慶應義塾大学内の手続きについて

<サマーセッションへの出願前に行くこと>

- SAFで個別相談を受け、出願を希望する場合は以下を行う。
 1. 慶應義塾大学理工学部学生課学事担当で学内の手続きについて確認する。
(※1年次で応募する場合、日吉学生部理工学部担当者に相談すること。)

慶應義塾大学理工学部による海外留学奨励金

慶應義塾大学理工学部による「国際人材育成資金・基金」の海外留学奨励金へ申請できる可能性があります。申請資格や申請方法の詳細等については、「理工学部学生課国際担当」に確認してください。

矢上キャンパス25棟1階 / [TEL] 045-566-1468 / [Email] ic-yagami@adst.keio.ac.jp
[国際担当HP] <https://www.st.keio.ac.jp/students/ic/scholarship/kj.html>

留学体験談

サマーセッション短期留学プログラムに参加後、多くの学生が海外の大学院や慶應義塾大学大学院に進学し、グローバルに活躍しています。これまでに参加した学生の体験談・後輩の皆さんへのメッセージを紹介します。

森 玲奈さん (情報工学科)

留学先大学/期間： University of California, Berkeley / 2017年6月～8月 (10週間)

Q1. どうしてSAF海外大学サマーセッション短期留学に参加しようと思いましたか？

大学卒業後の進路の1つとして海外大学院への進学を考えており、まず海外の大学とはどのようなところなのか知りたかったからです。そして、トップクラスの大学を自分の肌で感じられるとても良いチャンスだと思ったからです。1年間の留学は長くて参加できなかったのですが、10週間という期間は私にはとても参加しやすかったです。

Q2. 留学経験は、その後どのように活かされていますか？

勉強が大好きになりました！パークレーでは毎日朝から夕方まで授業が詰まっており、授業後も寮でたくさんの課題をこなすという生活を送っていました。当時は本当に忙しすぎて辛いと思った瞬間もありましたが、今振り返ってみれば、本当に濃密で楽しい時間だったと思います。パークレーには授業に積極的に参加する学生が大勢いて、それに応えてくださる先生やTAの人も本当に熱心で、学ぶ環境が本当に整っていました。そのような環境があることを知れたこと、その環境を体感できたことが本当に参加して良かったと思います。

Q3. 後輩の皆さんにメッセージをお願いします。

興味を持っているなら絶対に参加してほしいです！留学することは決してマイナスにはなりません。プラスにしかならないです！！特にこのサマーセッションは世界トップレベルの大学に行ける本当に良いチャンスです。日本の大学とは全然違う環境を知ることができます。週末は街へ出かけたり、遊んだり、楽しいことも沢山あります。興味を持てたなら、迷わず、ぜひ参加してみてください。



友達とハイキング

菅 琢哉さん (情報工学科)

留学先大学/期間： University of California, Berkeley / 2017年6月～8月 (10週間)

Q1. 留學生活を通して強く印象に残ったことについて教えてください。

この留学中は、今までの人生のなかで最も自分の夢に向かって前進しているな、と思いつけていました。寮での生活、クラス、課題、遊び、など日常の一つ一つの全てが自分の将来の為のトレーニングになっていると感じながら生活していました。他の国から来た留学生とレンタカーを借りてシリコンバレーのFacebook本社に乗り込んだり、クラスメイトと協力して授業のプロジェクトに取り組んでいる際に、こんな風に国境を超えて協力して世界の最先端に飛び込んでいくことが自分の本当にやりたいことだ、と思って没頭したあの感覚を今でも覚えています。

人間関係について言えば、異文化・異言語の人間同士が短期間でこんなに仲良くなれるとは正直思っていませんでした。寮とクラスの友達とは英語に苦しみ私にもすぐオープンに接してくれて、本当にその友達たちがこの留学を楽しいものにしてくれたといっても過言ではありません。その一方でこっちから英語で伝えられなかったことも多く、悔しい思いもありました。

Q2. 留学経験は、その後どのように活かされていますか？

まずなんといっても英語によるコミュニケーション能力の向上です。今では英語で人と話すことや発表・質疑応答することに関して、自分でも驚くほど怖さを感じなくなりました。そして留学していたことにより、研究室や部活、バイトで周りから、言うなれば“グローバル人材”的な期待がされるようになりました。そういったなかで、留学中を通して得た英語力や異文化コミュニケーションの経験をもとに、外国の人と関わらないといけない場面ではある程度リーダーシップを発揮することができているのではないかと思います。その他にも、日本に来た外国の人に積極的に寄り添ってサポートしたいと思うようになりました。私もアメリカで言葉や文化の違いによる辛さを体験し、そんな時に友達がフレンドリーに助けてくれた経験が沢山あったので、私も日本で留学生と積極的に関わり、日本人とのコミュニケーションをサポートしたり情報を提供したりする姿勢が身についたと思います。この留学は、自分は日本国内という枠を超えて何かをすることに興味がある、と確かめるきっかけになったのではないのでしょうか。留学したあの3ヶ月の思い出は今も将来のための努力のモチベーションになっています。



パークレーの街を見渡せる山の上のブランコで

Q3. 後輩の皆さんにメッセージをお願いします。

大学院生や社会人になってから留学するパターンもありますが、個人的には学部時代という特別な時期に留学して海外の学部生と交流できたのはラッキーだったと思います。サマーの間の、しかも3ヶ月だけですが、それでもアメリカのカレッジライフを経験できたのは大きかったです！お金はもちろんかかりますが、もしご両親などが支援してくれるのであれば、迷わず行くことをお勧めします。絶対に自分の学部生活を自慢できるぐらい特別なものにしてくれます。



寮 (Unit 2) で一番仲よかった友達と

野城 菜帆さん (機械工学科)

留学先大学/期間: University of California, Los Angeles / 2017年8月～9月 (6週間)

Q1. どうしてSAF海外大学サマーセッション短期留学に参加しようと思いましたか？

将来アメリカの大学院に進学、およびアメリカをはじめとした海外で就職することを考えていたからです。それにあたって、短期留学を通じて海外で勉強するということがどういうことなのかを知るため、このサマーセッションに参加しました。

Q2. 印象に残っている授業や先生について教えてください。

一番印象に残っているのはLab-Mechanicsの授業です。3時間の実験を週2回で行う授業で、私以外全員現地のUCLA生でした。実験自体の難易度はそこまで高くはありませんでしたが、日本語でも読みこむのに時間がかかる実験書を英語で読んだり、レポートを書いたりするのは非常に苦労しました。そして何より周囲が現地生のため採点が厳しく、最初のレポートで文法だけで20点以上引かれたときは心が折れそうになりました。

そんな中でもなんとか友人やTAに食らいつき、必死で勉強したことは今思い返せば一番成長した時間だったように思います。そのおかげでレポートの回数を重ねる度に文法ミスが減り、採点してくれたTAに最後に努力を褒めてもらった時はとても嬉しかったです。

Q3. 留学経験は、その後どのように活かされていますか？

留学経験で得たことは大きく分けて2点あります。

1点目は、選択肢が広がったことです。想像通り勉強は大変でしたが、その分得られるものは多かったように感じます。諸々考えた結果、修士課程は慶應に残ることにしましたが、その先のことは海外も視野に入れるようになりました。

2点目は自分の価値観について考え直すことができたことです。海外の学生に囲まれて勉強したり、現地で働いてる方々のお話を聞く中で、自分が良いと思うもの、になりたい姿について大いに考えることができました。

Q4. 後輩の皆さんにメッセージをお願いします。

短期の留学は意味があるのかどうか、疑問がある方もいらっしゃるかと思います。しかしたとえ短期であったとしても、目標をもってきちんと行動すれば非常に意義あるものになります。まずは自分が留学を通して何をしたいのかをしっかりと考え、そのうえで挑戦することを決めたのなら、留学先で必死で取り組むことをおすすめします。そうすればこの留学がかけがえのない経験になるはずです。



UCLAで21歳の誕生日を迎えた私と、祝ってくれたルームメイト



JPL-NASAの見学に行った際に撮影した写真

佐伯 唯さん (情報工学科)

留学先大学/期間: University of California, Berkeley / 2018年6月～8月 (10週間)

Q1. どうしてSAF海外大学サマーセッション短期留学に参加しようと思いましたか？

短期の語学留学とは違い、10週間かけて専門科目の授業を履修できるというところに魅力を感じました。また、単位振替なども可能であるため、授業期間に留学することによる負担が少ないと考えたからです。

Q2. 印象に残っている授業や先生について教えてください。

The Foundations of Data Scienceの授業の進め方が印象に残っています。データサイエンスに関しては今まで全く学習したことがなかったのですが、授業では初歩の初歩から説明が始まり、演習の授業では実際に問題をみんなで解いて解説を聞くという時間があったため最後まで非常にわかりやすく学ぶことができました。また、先生やTAに気軽に質問できる掲示板のようなアプリが存在しており、わからないこともすぐに解決することができてとても便利でした。

Q3. 留学経験は、その後どのように活かされていますか？

サマーセッションでの授業でデータサイエンスという学んだことがない分野に英語で挑戦し、良い成績を取ることができたということで自分に自信ができました。また、全く違う文化と交流できたことで自分の中の世界が広がり、物事を考える時の視野が広がったように思います。今後はこのサマーセッションで培った英語力を武器に海外の学会での発表にも挑戦したいと考えています。

Q4. 後輩の皆さんにメッセージをお願いします。

この留学は、留学してみたけど語学の授業だけでなく専門科目の授業も受けてみたい、でも卒業が遅くなるのは嫌だという人にとってつけのプログラムだと思います。行って損することは絶対に無いので、迷っている方は挑戦してみてください。



サンフランシスコにて



寮のイベント: ハイキング



英検 公益財団法人
日本英語検定協会



米国非営利教育財団

SAFスタディ・アブロードファウンデーション日本事務局

慶應義塾大学 理工学部学生対象
SAF海外大学サマーセッション短期留学

http://japan.studyabroadfoundation.org/apply_now/keio_science.php

詳細はこちらから▶

TEL:03-5321-6222

